



芝浦工業大學

SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

グローバルPBL体験談

実施年度	2021年度
プログラム連番	82
実施形態	オンライン
担当教員	環境システム学科 鈴木 俊治先生
実施期間	2021年5月8日～10月9日
実施協定校	スラバヤ工科大学（インドネシア） 世界15カ国37大学

参加学生体験談（要旨）

環境システム学科

4年

今回のGPBLでは各国・各地域をテーマにしなから「sence of place」とはどのようなものかを考える良い機会となりました。

近年アジアでは開発が進み、日常の風景が急激に失われていると感じます。実際に先生がスケッチをした場所も今は開発が行われ、全く異なる景色になってしまったと聞きました。新しいものに価値を生み出すことも悪いことではないですが、もともとその地域にある風景や、その地域でしか感じられない雰囲気や言語化したり、他者に伝わるよう表現することも同じくらい大切であると思いました。そうしなければどこの地域も同質化してしまい、面白味がなくなってしまう。

このようなことを今回のGPBLで改めて考えることができたのが参加して良かった点です。

私は英語が得意な方ではないので、レクチャーの際には先輩に助けをもらうことも多々ありました。GPBLは普段英語に触れることが少ない中で、有意義な時間だったと感じています。そして海外の方の前で自分たちのプレゼンテーションをすることができたのも良かったと思っています。今後も引き続き英語に触れる時間を意識的に作っていきたいと思いました。

環境システム学科

4年

海外の都市や文化について英語で学ぶ貴重な体験ができたこと、外国の方と会話をできる機会が設けられていたことがよかったです。私は海外の都市を訪れることが好きで、大変興味があるので、楽しみながら学ぶことができました。また、日本について学ぶことも多く、私自身も外国の方に日本の魅力について英語で説明できるように準備する必要があると感じました。

普段から英語を聞いたり、自ら話したりする機会がほとんどないため、参加して自分の英語力があまりないことを改めて実感しましたし、日本語に頼らず全て英語で話さないといけない場面には苦労しました。英語ができればもう少し学ぶことができたと後悔しています。この授業をきっかけに英語を普段から勉強すべきだと思いました。

参加学生体験談（要旨）

環境システム学科

3年

今回、初めてのGPBLで、様々な価値観の違い、多様性を学ぶことが出来ました。もちろん英語力の向上のために申し込んだプログラムでしたが、英語を学ぶことよりも、日本という国の内と外では考え方がとても違うことを理解し出来ました。様々な国の学生と交流することで、それぞれの学生が持つ価値観を共有できたことは非常に大きな経験となりました。

実際にプログラムの中で、教員の問いかけに積極的に応答するのは海外の学生であり、日本の学生は指名されてから応答することが多かったです。また、海外の学生の多くはカメラをオンにして参加しているのに対し、日本の学生の多くがカメラをオフにして参加していました。もっと積極的に海外の学生と交流し、意欲を出して参加するべきであったと後悔しました。このような海外学生の姿勢は、社会に出てから非常に重要になってくるものであると感じ、参考にすべきものだと感じました。また、英語力に関して、専門的な英単語を聞き取ることが出来ず、話全体の概要を掴むことが難しかったため、自らの英語力をさらに向上させることが必要であると感じました。

今回のオンラインプログラムを通じて、全体的にもう少し学生同士で交流を行う時間が欲しいと感じました。授業の他に、簡単なゲームや雑談を行うことで、決まったテーマで話し合うよりも簡単に打ち解けることができ、今後のプログラムにおける意見交換の際にも非常に良い効果が得られると感じたからです。

最後に、オンラインでのプログラムでしたが、非常に貴重な経験となりました。様々な国の学生と交流することで、英語力の向上だけでなく、自身の考えに多様性を取り入れることが出来ました。他にも、私自身の積極性や物事に取り組む姿勢を見直す良い機会となりました。

参加学生体験談（要旨）

環境システム学科

4年

参加して良かった点

今回のPBLに参加して、同じアジアの地域に住んでいる人と共に“sense of place”について共有し、考えることが出来て良かったと思います。私は日本以外のアジアの国を訪れたことがなく、メディアの情報でしかその土地の印象を持っていなく、観光で訪れるような情景を思い浮かべていました。しかし、その地に住んでいる人は深刻な環境問題、分断された地域、歴史や文化の継承に対する問題意識を持っていました。また、開発によって環境問題が進んでしまった地域も多く、自分たちの誇りだと感じていた文化や景色がなくなってしまうことを残念に思っている人が多くいる事実を知りました。

グループディスカッションでは、もっと身近な感想を聞く事ができ、様々な考え方を共有出来ました。また、改めて都市計画の基本となった考えや、魅力的な都市とはどのような工夫がなされているのかを振り返ることが出来ました。

改善点

私が英語を話すことを苦手としていて、積極的に会話をする事が出来なかったことを反省しています。グループディスカッションで話すことはありましたが、難しいことも多く、今後は自分で話す機会や英語に関わる機会を作る必要があると感じました。

その他感想

PBLの最初にいつもその地域の印象を問う質問があり、建築物の印象が強い日本人学生と食べ物の印象が強い他の地域の学生が印象に残りました。その点で、食と都市は密接な関係にあるのだなと感じました。

他国の学生や教授が優しく、ディスカッションで丁寧に説明をしてくれたことが嬉しかったです。海外の人の考え方や積極性、明るい表情がとても素敵で刺激を受け、自分もそのように成長しなければと思いました。

参加学生体験談（要旨）

建設工学専攻

2年

私は今回のGUPA-GPBLは非常に良いプログラムだったと感じています。特に良かったと感じている点は3つです。

まずは、人数を気にせず開催できる点です。オフラインの開催となると、人数制限や会場の確保など枷となることが多いですが、オンラインではその規制を受けないため、企画しやすいのではないのでしょうか。

次に、月1回2時間半とあまり無理のないスケジュールで開催されたことです。今までのPBLであればどこかの国に滞在するまとまった期間が必要だったため、通常の授業期間などは特に一つの学校でも都合が悪いと開催が難しかったと思いますが、オンラインという方法により可能性が広がったのではないかと思います。

最後に、今後の自分たちの活動に取り入れられそうな技術を学べたことです。オンラインのワークショップではアイスブレイクの機会が必要だと感じており、interactive sessionにて行われた投票機能を用いた参加型のコーナーは、今後の活動で真似できたら面白いと思っています。

今後はオンラインだから出来ることをお互いに学び合ったり、オフラインとの融合が出来たりするとより良いかと思っています。（融合：数日間現地調査やレクチャーのためにオフラインで集まり、後日オンラインでワークの結果を発表するなど？）

様々な国の方とコミュニケーションを取れるように今後は英語を始め語学にも取り組まなければならないと感じました。

参加学生体験談（要旨）

環境システム学科

3年

今回のGPBLでは各地域の「sense of place」を知る事のできる良い機会でした。講師の方の熱量が伝わる発表ばかりで、インターネットで調べるだけでは得られない「sense of place」を感じることができました。また、他の地域の発表を聞くことによって自然と自分のゆかりのある土地のことを考えるようになり、いつも通っている街が、道の見方が変わりました。

今後改善すべき点としては、もっと話し合う機会があってもよいかと思いました。今回のGPBLでは色々な国の大学生がいたので、異文化に触れるチャンスでもあったのですが、ブレイクアウトルームの時間が既存の時間では少し物足りなさを感じました。私自身の改善点としては発表中に質問等をしていないことです。まだ自分の英語力に自信が無く、多くの人がいるメインルームでの質問は出来なかったので、自分の英語力を高めて積極的に質問できるようになりたいと思いました。

環境システム学科

2年

GPBLに参加してよかった点は、初めて英語のみで行われる授業に参加でき、英語をもっと話してみたいと思えるきっかけになったことです。

私は最初のころは英語で話すことも聞き取ることもできない状況でした。しかし、授業の終盤になると、アジア系の英語の聞き取りに少し慣れ、何を今伝えているのかが、なんとなくわかるようになりました。また、各授業の終わりにレポートを書くことで、日本語で伝えたいことを英語に変換する作業に慣れることができました。

また、アジアの歴史的で美しい街について学べることもできました。世界の美しい景色と聞くと、ヨーロッパやアメリカなどの地域の景色が思い浮かんでいましたが、アジアの景色もそれぞれ特色があり、自分の目で見てみたいと思いました。

参加学生体験談（要旨）

環境システム学科

2年

今回のGPBLでは、豊かな歴史や文化を持つアジアの様々な都市をオンラインで訪れ、各都市の歴史、らしさや魅力などを感じられました。また、グループディスカッションでは、様々な国の方と意見交換し、交流することが出来ました。英語はあまり上手ではありませんが、みんなとてもフレンドリーで、ときには励ましてくれました。

また、都市計画についての様々な考え方を知り、多くのことを学びました。特に印象に残ったのは、都市計画家としてまちづくりの中に、機能などを盛り込むだけではなく、センスも盛り込むべき、また機械的に街をデザインするのではなく、人間がどう感じるかも考えるべきだということです。そのためには、その地域の今までの歴史や文化などをよく知る必要があります。物理的に見えることだけではなく、様々な時間帯に訪れて、ゆっくり見て、座って、アクティビティを観察して、五感で感じたことも大事です。（観察と記録による正しい認識が必要です。）都市は多様なアクティビティがあり、みんなで楽しめる安全で賑やかな公共空間であるべきだと思います。

今回のGPBLでは、動画やグループディスカッション、音楽など様々な形式を用いて各都市を紹介し、非常に楽しい時間でした。

環境システム学科

2年

今回、このプログラムに参加をして、オンラインだからこそ出来たことや、普段の授業では経験できなかったこと、得たことがたくさんあります。

一つ目は、海外の学校の先生の話聞くことができたことです。前半戦はイスタンブールとジャカルタの話を見ました。このときは動画を見て、行ったことのない場所の説明を英語で受け、とても難しく感じました。しかし、なんとか友達や先輩に確認をしながら乗り切ることが出来ました。後半戦は日本の都市の話で、鈴木教授や松下教授が解説をしてくれ、英語を勉強するモチベーションになりました。二つ目は海外の学生とのブレイクアウトセッションでしっかり会話が出来たことです。ITSの学生は人柄がとても明るく、拙い英語でもなんとか理解してくれようと思いました。今でもInstagramなどで交流が続いている学生もいます。毎月、明るい先生の話聞くことがとても楽しみで、大変でしたが良い経験になりました。

参加学生体験談（要旨）

環境システム学科

3年

参加してよかった点は、アジアの各都市について、今までは有名な観光名所程度しか知らず、その都市の表層しか知ることがなかったのですが、意図的に作られたものではなく市民がそこを利用していく中で自然発生的に起こる現象を知ることができ、非常に面白い講義を聞いたことです。また、インドネシアではトップダウンで再開発が行われていて、少しずつスラム街が整備されていったことを知り、今後どのように発展していくかに興味が出ました。

今回のプログラムではアジアの各都市成立の歴史から、それぞれの都市の持つ課題とそれに対する現状の解決策、また一般市民の日常生活を知ることが出来ました。最初に鈴木先生の講義が入ることで、毎回少しずつ、都市に対する知識や考え方が身につき、それが都市の中でどのように機能しているかを考えながら、アジア各都市の紹介を見ることができ、非常に面白かったです。

日本の都市について紹介する課題で、私達の班は新宿を担当しました。ここでは、今までとは異なる視点で新宿という都市を眺めることが出来ました。ただ、遊ぶ場としての対象でしかなかった新宿を学びの場としての対象に置き換えた時、様々な面白い発見がありました。新宿の象徴といえば、高層街とオフィスビルと娯楽施設だと思っけていましたが、実際には娯楽街や商業施設が混在していて、明治神宮や新宿御苑などの広大な緑地も存在していました。街歩きをしても、歩いている場所によって全く異なる景色を見ることができ、非常に面白い都市だと再認識出来ました。現在ではコロナの影響で路上ライブ等が行われていませんでしたが、コロナが収まったときにまた景観が変化するのが楽しみです。

インドネシアのジョグジャカルタ、イスタンブールについても、都市の代表的なものしか認識していませんでしたが、現地を研究する教授の講義で、観光名所以外に、その土地の気候や生活様式、空間の使い方を紹介してくれて非常に面白かったです。

また、各都市に様々な課題が残されていて、これからこうしたいというビジョンもあり、今後の発展から目が離せないような地域が多くありました。

参加学生体験談（要旨）

環境システム学科

4年

今回のPBLで良かった点は、まずは講義（プレゼン）内容が純粹に面白かったことです。能動的に触れる機会が少ない海外の都市デザインの取り組みや、それに関連した文化・風俗を知るのはとても楽しく感じました。また、参加していた海外の学生たちからはまちづくりに対する熱い姿勢を読み取れ、よい刺激を受けることができました。

建築学専攻

1年

参加して良かった点は、海外大学のレベルの高さを知ることができたことです。また、改めて日本の魅力とは何かを考えるいい機会となりました。経済が最優先される日本において、今後どのようにすれば持続的な発展を遂げ、楽しく快適に過ごせる街になるのか、考えました。

日本の魅力は場所によって異なりますが、東京であれば高層ビルの密集、雑多な街並み、人口の多さです。再開発を通じて、街並みを綺麗にして、パブリックスペースを設ければ多く的人是利用すると思いますが、一方で雑多な感じは消えていくと感じます。日本の魅力を消さずに発展させていくには、どうすればよいのか。私の現状の考えは、建築のフォサードを高層化しつつも雑多感があるようにデザインする。車道をパブリックスペース化して、快適さを作ること考えています。

今後改善すべき点としては、授業に参加してみて、まちづくりについて自分の意見をもつことと、その意見をどのようにすれば理解してもらえるのか、分かりやすくなるのか考えなければいけないと感じました。その為には、物事をしっかり理解して、抽象と具体、理由と根拠を意識して話す必要があると感じました。

参加学生体験談（要旨）

環境システム学科

4年

参加して良かった点は3つあります。1つ目は、普段の授業で学習した内容を再度英語で聞くことで理解が捗ったことです。2つ目は、外国の文化や街についての知見が広がったことです。普段なかなかアジア諸国の都市について学ぶ機会はないので、興味深く面白かったです。3つ目は、海外の学生の英語力、コミュニケーション能力が高く、いい刺激を受けることができた点です。

次に今後改善したい点として、物怖じせずに英語を話せるようになることが今の一番の課題です。頭の中で正しい文法で文章にできないと話せないのが現状です。急に正しい文法の文章がスラスラ出てくることはないので、今はとりあえず単語を紡いで、話しながら考えることを目指していきます。それとやはり単語力は全然足りていないと実感したので、コツコツと学習していこうと思います。前期にもPBLに参加し、今回が2回目でしたが、先週TOEICを受けたところ点数が伸びていたのも、少しは英語力がついたと感じます。普段はあまり英語の学習が続かないのですが、今回実践的に英語を使う中で必要性を痛感し、勉強せざるをえない環境を自ら作っていくことが、英語力を伸ばすのには必要だと思いました。

建築学専攻

1年

Unveiling the Virtue of Great Urban Places in Asia と題されたグローバルPBLはアジア諸国の“Sense of Place”を発見するところから始まりました。ジャカルタに始まり、イスタンブールや様々な都市に関する歴史や文化、物語のレクチャーを受けました。それぞれの場所で、それぞれの Sense of Place がありました。レクチャーの後には、参加者と議論する時間が設けられ、議題に従いながら自分の住む街を紹介したり、比較して理解を深めました。

多くの国から参加者が募ったため、多様な議論が展開できたように思えます。他国との比較を通じて、むしろ日本についての発見をすることが多かったです。日本に暮らしている私からしたら当たり前のように感じていたことも、異なる文化、背景をもつ人からすると新鮮に感じることもあるようでした。

私はこれらすべての出会い、発見を持つことができて非常にうれしく思います。しかしながら言語の壁はやはり高いものがあり、都市や文化のもつ微妙なニュアンスを伝えることに困難を感じたこともありました。英語の技術によらず、ある程度のことは伝えようという気持ちがあれば伝わるものですが、その一歩先に進むためには、さらなる勉強が必要だと改めて感じました。

参加学生体験談（要旨）

環境システム学科

2年

良かった点は、海外のまちづくりについて知ることができたことです。今回紹介された都市はいずれも特徴のある場所ばかりで、その場所らしさを失わないような発展が必要ですが、時にそれが難しいこともある事が分かりました。没个性的ではない、魅力的なまちにするためには、まずは地元の住民や都市計画家が地元の魅力や他の都市にはないその場所らしさを知ることが大切だと思いました。そして、今回のように他の都市について学ぶことで、海外の都市の魅力を知ると共に日本の都市の魅力や課題などを知ることができるので、参加して良かったと思います。

全体として、都市の紹介やディスカッションの時間があるなど、充実したプログラムだったと思います。

建築学専攻

1年

参加してよかった点は、海外の都市について、多くのことを学ぶことができた点です。自分が良く知らない都市についても多くの知見を得ることが出来ました。アジアの地域は、訪れたことがなかったですが、今回のGUPAで興味を持つことができ、いつか自分の目で見てみたいと感じました。

全体的な感想としては、オンライン上での英会話はとても難しくジェスチャーのありがたさを感じました。聞き取りやすい英語をしゃべる方もいれば、癖がある人、話すのが早い人など、聞き取れないケースが多かったので、パワーポイントをみて理解するよう努めました。

個人的な感想となるりますが、西洋の街並みが好きなので、他の地域でも開催して欲しいと思いました。